



これからも高速道路の安全・安心を最優先に社会から信頼され成長する企業グループをめざします。

### 現下の経営環境

新型コロナウイルス感染症の急速な蔓延により、全国に緊急事態宣言が発令され、国民経済や生活は大きく制約を受けました。そのため、当社グループの料金収入やSA・PAの売り上げは、平成17年10月の会社設立以来最大となる落ち込みを経験しており、厳しい経営環境に置かれています。これからは感染拡大防止と社会経済活動の維持の両立が求められますが、世界中が手探りで模索し続ける、これまで誰も経験したことがない時代となります。

今後、政府の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」などの施策も踏まえ、社会からの様々な要請や状況の変化に的確に対応していきます。

### 100年続く高速道路をめざして

このような状況にあっても、当社グループは24時間365日、我が国の大動脈として生活・経済活動に欠かせない重要インフラである高速道路の機能・サービスを間断なく提供する使命を担っています。

そのため、お客様の走行安全性と快適性を高め、

道路構造物を安全にご利用いただくため、点検・診断や、名神集中工事をはじめとした各高速道路での補修工事を着実に進めています。

また、老朽化の進行に抜本的に対応するため「高速道路リニューアルプロジェクト」も計画的に進めています。今年6月には、中国自動車道 吹田JCT～中国池田IC間において、都市部としてははじめてとなる約2週間の終日通行止めを伴う工事を渋滞緩和のための様々な工夫をしたうえで実施しました。その結果を、今後の都市部の交通規制等に反映させ、引き続き社会的影響を最小限に抑えつつ高速道路の安全・安心を確保していきます。

### 高速道路における安全・安心実施計画

昨年12月に安全性・信頼性・使いやすさのさらなる向上を図るため、「高速道路における安全・安心実施計画」を策定しています。この中では、お客様の安全・安心の確保、大規模災害時の早期復旧の支援等の観点から、暫定2車線区間のうち優先整備区間(約380km)について順次4車線化を進めていくこととしています。

さらには、将来の無人隊列走行システムの普及の実現を見据えた新名神高速道路の6車線での整備、世界一安全な高速道路の実現をめざした逆走対策等の交通安全対策、近年の激甚化する気象災害や高い確率で発生することが予測されている南海トラフ地震に備えた対策や強化修繕、休憩施設における駐車マスの拡充など利用者ニーズを踏まえた使いやすさの向上を着実に推進していきます。

### 中期経営計画2025の策定に向けて

本年は来年度にスタートする中期経営計画2025を策定する年ですが、現在のような非常に厳しい経営環境であればこそ、将来の技術革新や社会の変革に伴う自動車の役割などを見通しつつ、新しい時代の高速道路のあるべき姿をめざす計画としたいと考えています。

例えば、自動車の進化する方向性として「CASE」や「MaaS」が提唱されていますが、5年後は多くの技術が実現しているでしょう。アフターコロナではさらに新しい技術やサービスが出現するかもしれません。

道路管理の分野でも構造物の劣化診断や所要時間情報の高精度化にAIをはじめとするデジタル技術の活用が始まりました。今後ともデジタル技術の活用を業務改善、働き方改革のレベルまで高めるとともに、内外のステークホルダーのニーズに応える新たな価値の創造に取り組めます。

これらの取り組みを着実に進めるため、中期経営計画2025を策定し、社会においてさらに大きく貢献する企業集団への進化をめざします。

### CSRへの社会の動きと対応

高速道路という社会インフラの機能をさらに高め、我が国の持続的な発展に寄与することがNEXCO西日本グループの理念であり、社会的責任(CSR)であると考えています。そして私たちは、事業活動を通じて、国連が採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献していきます。

### おわりに

あらゆる事業活動を通じてお客さまや株主の皆さまをはじめ、協力会社や取引先、従業員、沿道地域の皆さまなど、様々なステークホルダーへの責任を果たすことに努めていきます。皆さまには、本レポートやNEXCO西日本グループの今後の活動に対して、忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年7月

西日本高速道路株式会社  
代表取締役社長

前川 秀和

## Withコロナ時代に向けて

新型コロナウイルスの出現により、生活や働く環境に大きな影響を与えています。NEXCO西日本グループにおいてもこの影響が長期に及ぶことを前提として、感染防止と事業継続を実現するために、これまで取り組んできた「ダイバーシティ推進」の観点も踏まえ、業務の効率化や働き方改革を進めています。

「Build it Back Better(より良く再建する)」の取り組みとして、「デジタル改革」「働き方改革」を加速させることにより成長を続けていきます。

### With コロナ：感染防止と事業継続を実現するため、改革による生産性向上を図り成長をめざします

#### デジタル改革

##### タブレットPCのプラットフォーム構築

高速道路の維持管理の現場でタブレットPCを活用できるプラットフォームを構築し、各種情報のシステム間の連携を図り、生産性の向上をめざします。

##### ICT技術を活用した業務プロセスの効率化

BIM/CIMの活用をはじめ、ICT技術を活用した工事の遠隔立会いの導入など、業務プロセスの効率化をめざします。

##### 3次元データのさらなる活用に向けた研究

高速道路空間の異常やその予兆の察知、日常の維持管理に3次元データを活用するため、さらなる維持管理技術の高度化に向けた研究を進めています。

#### 働き方改革

##### 在宅等勤務(テレワーク)の推進

ICT機器のさらなる充実やweb会議システム、電子決裁システム等の一層の活用とともに、業務の進め方も工夫しながら、在宅等勤務(テレワーク)の推進に取り組んでいます。

##### 柔軟な勤務時間の実現

効率的な業務執行や多様な社員の活躍促進を目的とした「時差出勤」の活用を積極的に行っています。今後、さらに利用しやすい制度をめざして取り組んでいきます。